

## 情報入試 - AO入試での例

---

Yutaka Yasuda, Kyoto Sangyo University

# 「情報」が一般入試科目にある大学

No	大学名	学部名	●必△選
国1	高知	理工	△
私1	東洋	情報連携	●
私2	筑波学院	経営情報	△
私3	高崎健康福祉	健康福祉	△
私4	中央学院	法	△
		商	△
		現代教養	△
私5	東京情報	総合情報	△
私6	慶應義塾	総合政策	△
		環境情報	△
私7	駒澤	グローバル・メディア・スタディーズ	△
		文	△
		仏教	△
		法	△
		経済	△
		経営	△

私8	武蔵野	教育	△
		グローバル	△
		法	△
		経済	△
		アントレプレナーシップ	△
		工	△
		人間科学	△
		データサイエンス	△
私9	和光	経済経営	△
		表現	△
		現代人間	△
私10	名古屋文理	健康生活	△
		情報メディア	△
私11	九州情報	経営情報	△

# 京産大情報理工学部における「情報入試」の実装と結果

---

- 10学部（済営法現国外文理**情**生）の総合大学・1.4万人
- 情報理工学部

定員160名 x 4 学年（1学科10コース・一括入試）

以前から「作品評価」による AO 入試を実施

2016年から「（情報の）筆記試験」による AO 入試区分を追加

筆記（60分）+面接（30分・後日）

# 受験者数推移

- 開始以来急拡大→沈静  
おそらく広報量による  
あるいは落とし過ぎ？
- かなり落ちる  
定員による制限では無い  
「これ」と考える学生は少ない  
それなりに良い学生が採れている
- 入学辞退もある  
**(赤字)**

入試年度	一次	二次	合格	入学
2016	発表時のみ			
2017				
2018				
2019				
2020				
2021				
2022				

# ターゲットはどこか

---

- 適性がある学生を採りたい

従来（作品応募）AOの絶対数は増えない

- 情報入試で「その入り口」を拡大する

**情報入試は**

**“情報の資質のある受験生を引き寄せる”**

**手段である**

- 少し異なる入り口を設けることで「貴重な」人材を採れる
- 「AO」として実装

# 作問体制

---

- 4-5人で作業

三ヶ月、5回+程度のラフなミーティングでネタ出し・絞り込み

- センター試験の体制などに比べると低めの工数

完全性の担保

「別解がない」

「誤答とは言い切れない」

- 厳密さをAOで回避

「思わぬ難問」があっても、面接で確認して評価可能

# 作問体制

---

- 毎回 5 問より多く検討

没問題はストック（良問は残そう、イマイチなものは捨てよう）

- 徐々に入れ替え

2016,7,8 : A, B, C, D, **Y**

2019 : A, B, C, E (D, **Y** が抜けて E が参加)

2020,21 : A, B, E, F (C が抜けて F が参加)

2022 : A, E, F, **Y** (B が抜けて **Y** が参加)

# 「慣れ」が要ります

---

- 2016年（初回）は完答者続出  
予想より皆よく出来た（経験が無いので作題者の勘が働かない）  
翌年から5問構成にした
- 「情報関係基礎」の平均点はあまり参考にならない（受験者層が違う）
- 2020年は意外な落とし穴が  
高校生は random 関数を知らない  
高校生に「N次の多項式」は通じるか？
- 面接で聞いて初めて分かる



# 2025年から情報系学部・学科はどうすれば良いか

## • 共通テストの「情報」の利用

国公立は**自動的に** / 私立は“**共通テストプラス**”的な入試区分で使う

### 京都産業大学の社会・人文科学系での「共通テストプラス」

教科		科目	配点
外国語		スタンダード3科目型または2科目型で受験した「英語」の得点を利用	100点
大学入学共通テスト科目	国語	「国語」（漢文を除く）	100点
	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	高得点 1科目を 採用  100点
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」 (2科目で1科目分として取り扱う)	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 「物理」「化学」「生物」「地学」		

# 2025年から情報系学部・学科はどうすれば良いか

---

- 共通テストの「情報」の利用

国公立は**自動的に** / 私立は“**共通テストプラス**”的な入試区分で使う

- 「非情報系学部」でも同じ事が行われる
- 情報に興味のある受験生にどう見えるか？

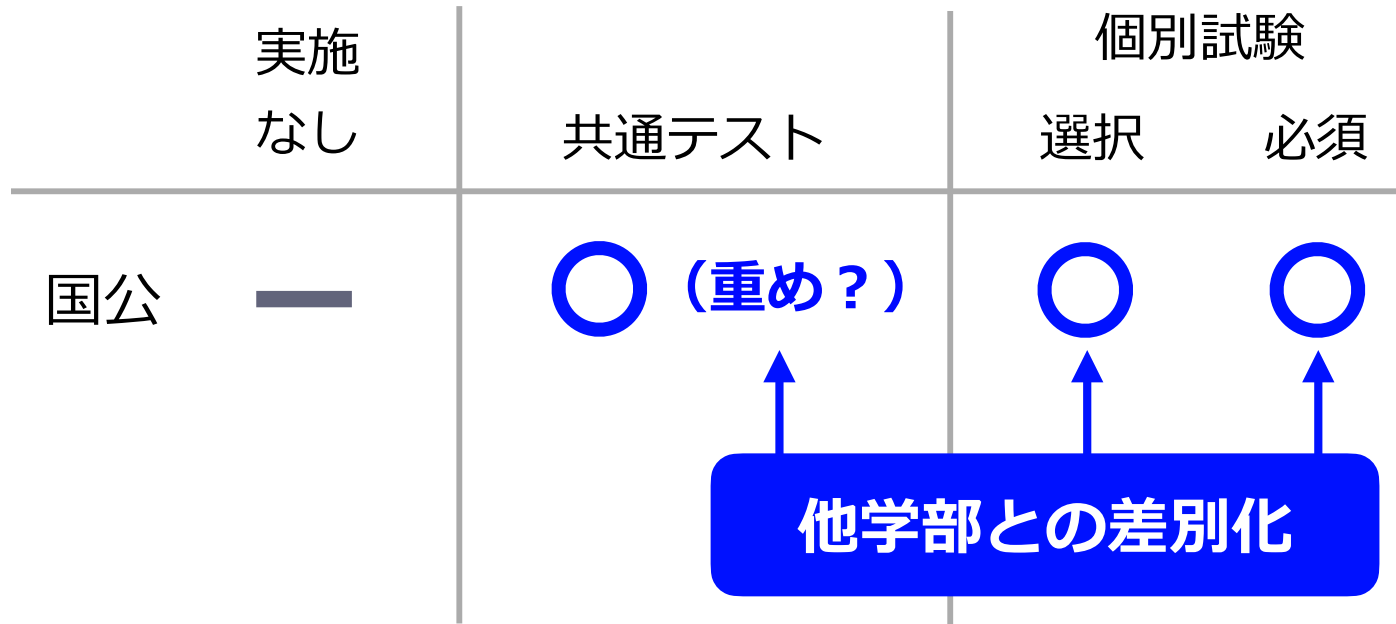
「違い」は傾斜配点の重みづけで？

自分の能力（専門性）はあまり問われないのね・・・

比較対象は他学ではなく  
自学の「隣の」学部

専門なのだからその科目の入試を  
自前で用意するのは当然では？

# 情報系学部を選択肢



# 情報系学部を選択肢

	実施なし	共通テスト	個別試験	
			選択	必須
国公	—	○ (重め?) "プラス" 一般	○	○
私学	○	△ ×	○	○

定員... (orange box) → △

入試部... (red box) → ×

Blue arrows: From the bottom right, one arrow points to the '実施なし' column for private schools, and another points to the '個別試験' columns for private schools.

実施なしか個別試験の「究極の二択」？

# 情報系学部を選択肢

専門なのだからその科目の入試を自前で用意するのは当然では？

	実施なし	共通テスト		個別試験	
		“プラス”	一般	選択	必須
国公立	—	○ (重め?)	一般	○	○
私学	○	△	×	○	○

国公立はスロースタート？

私立は先んじると効果ある？

よし！じゃあ作問して個別試験へGO!

**2025年に情報入試導入の意思決定をする**

**「かもしれない」**

**方は…**

## 意思決定までの検討コース

---

専門なのだからその  
科目の入試を自前で用意  
するのは当然では？

- 国公立：個別試験の実施有無
- 私立：「なし」か「個別試験」か、“プラス”？
- それを検討するために秤に載せたいこと

(自学の) 他学部との差別化

作問負荷の推定 = 試しに作るしかない？

慣れ・肌感覚

受験者層の推定 = 試しに受けてもらうしかない？

- 締め切り

意思決定してから実施まで何年必要か入試部に確認



AO!!

# 京都産業大学の状況

---

- AOでの情報入試の経験（7年）

2025年以降の計画について自由度高く検討可能

- 個別試験実施する？

慣れた作問チームが居る

- 共通テスト利用なし・一般入試でも情報なし、も「可」

“本当に**情報の能力を主張したい受験生はAOで**どうぞ”

- 選択肢があるって素晴らしい



## まとめ

---

- 京都産業大学における AO としての「情報入試」の実装紹介

その設計（ねらい）と作問体制の  
情報共有

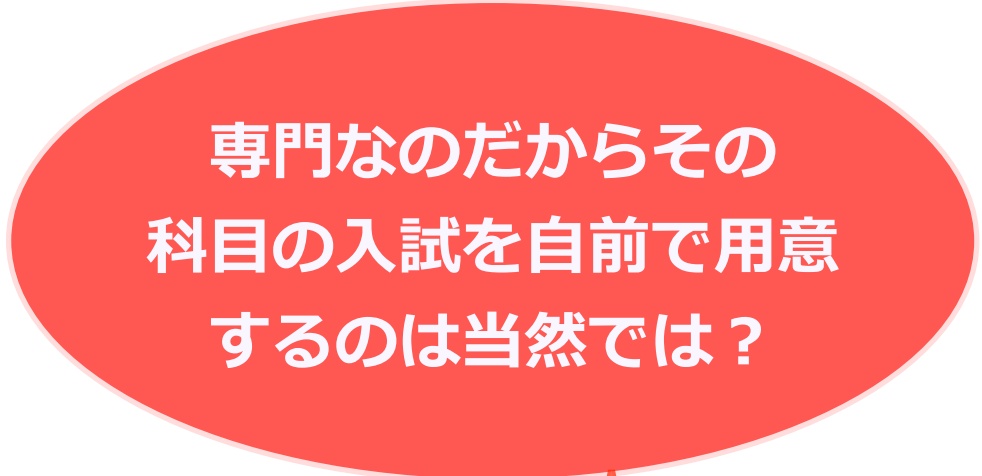
- 今後の情報入試実施に向けて

自組織の「非」情報系学部と見比  
べられる点に注意

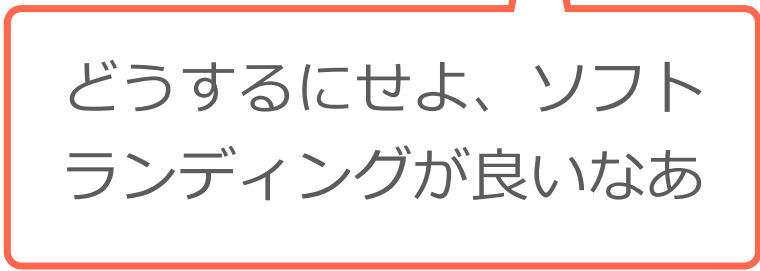
検討するための「肌感覚」



**AO!!**



専門なのだからその  
科目の入試を自前で用意  
するのは当然では？



どうするにせよ、ソフト  
ランディングが良いなあ

Any Question?

# 資料

---

- 過去の問題：2016年から7年分（過去応募作品情報などもあり）  
[https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/type/ao/ise\\_point.html](https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/type/ao/ise_point.html)
- 京都産業大学AO入試 入試情報  
<https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/type/ao/index.html>
- 京都産業大学AO入試「情報」試験 – 実施報告と今後の展望  
安田豊, 2016/5/15, 高校教科「情報」シンポジウム2016春 in 名古屋  
<https://www.slideshare.net/yutakayasuda/ao-62023156>
- ペタ語義：AOとしての情報入試の実現 -その設計, 実施報告と今後の展望-  
安田豊, 2016/11/15, 情報処理, Vol.57 No.12,  
<http://id.nii.ac.jp/1001/00175903/>
- 大阪電気通信大学のプログラミングAO入試  
<https://www.wakuwaku-catch.net/kouen200601/05/>